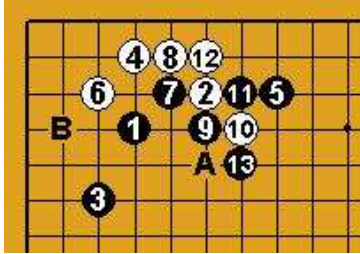


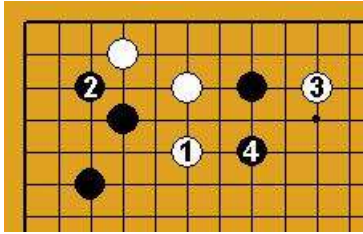
星に小ゲイマガカリ 一間バサミ 1



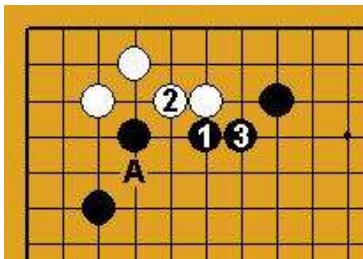
小ゲイマウケと一間バサミ

星の二大定石「小ゲイマウケと一間バサミ」の徹底研究、まずは「基本図1」です。これを頭に叩き込んでおいてください。

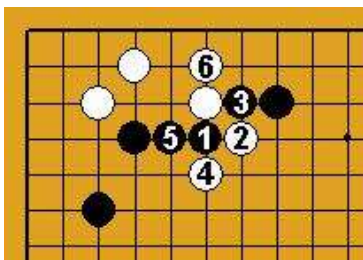
④のケイマのスベリは多分こう来るでしょう。三々に入ってくることは絶対にありません。大ゲイマジマリだと逆で、三々に入ってくることはあっても、ケイマにスベッてくることはありません。一路の広さの違いでこうも違うのです。さて、⑤で応じるべきか？ 三々にコスんで受けて白は二ケンにひらく、非常に簡明で黒はこれで悪いわけではありません。しかし “これはいかにも白の注文で気が進まない、⑤と右から一ケンにはさんでみたいのだが、いろいろ変化があるので・・・”という方も多いと思います。そこで変化を徹底的にやってみましょう。



白は必ず⑥と三々にコスんできます。これで（変化図 1 - 1）のように封鎖を嫌って①と飛び出してくることはありません。その場合は、②と根拠を奪うことが肝要、③と攻めてきても④と飛び出して、これはどちらが攻められているかわかりません。



「基本図 1」に戻って、⑦とコスミツケ⑧オサエ⑨ハネです。この⑦⑧の交換は大切な手順で単に⑨とトビツケるのは良くありません。（変化図 1 - 2）がそれですが、黒の外壁にはキズがあり、例えば白から A ツケです。



また周囲の状況によっては（変化図 1 - 3）もあり得ます。②とハネダされたとき、コスミツケとオサエの交換がないので、③キリがアタリにならないのです。この⑨単ツケには理由があって、⑧の手で⑦の下にアテコんでくる手があるので、それを警戒しているのです。しかしこの場合は“知らぬが仏”の方が

よいのです。このアテコミについては、次回で取り

上げます。 変化図 1 -

「基本図 1」に戻って⑩ハネダシで、シチョウが白
悪いからといって単に⑫とツギ、黒⑩ヒキと換るのは
白の態度ではありません。黒は外勢がしっかりする
のですっきり安心します。従って、⑬カカエで
は、シチョウが悪いときは当然 A ノビですが、今は
シチョウがよくても厳しいシチョウアタリが目に見
えているときも A ノビです。このあと白が⑩をすぐ
動いてくることはありませんがもしあっても黒は十
分戦えます。いずれ早い時期に黒は⑤や A からケイ
マして制しておくのが立派な一着です。なお黒 B が
隅の白に対してほぼきいています。これもチャンス
を見て早めに打っておいた方がよいでしょう。以上
総合して「基本図 1」は黒よしと思います。